HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	観智院本類聚名義抄の掲出項目数と掲出字数
Author(s)	池田, 証寿
Citation	北海道大学文学研究科紀要, 124, 137(左)-151(左)
Issue Date	2008-02-15
Doc URL	http://hdl.handle.net/2115/32430
Type	bulletin (article)
File Information	IKEDA.pdf

Instructions for use

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

北海道大学文学研究科紀要　124　(2008 年 2 月) 抜刷

観智院本類聚名義抄の
掲出項目数と掲出字数

池　田　証　寿

北大文学研究科紀要 124 (2008)

観智院本類聚名義抄の掲出項目数と掲出字数

池 田 証 寿

1 原撰本系『類聚名義抄』と改編本系『類聚名義抄』

『類聚名義抄』は，原撰本系と改編本系との二種がある。

原撰本系『類聚名義抄』は，院政期書写の図書寮本（宮内庁書陵部本）が唯一の伝本である。改編本系『類聚名義抄』の構成は仏・法・僧から成るが，原撰本系の図書寮本は法の前半部分のみ存する。院政初期，おそらく 1100 年前後に法相宗の学僧によって編纂されたとされる。現存本は一帖の零本だが，部首配列は改編本と同じである。諸種の文献を忠実に引用するのが特徴であり，単字の音注・釈義を注し，熟語の説明，真仮名・片仮名の和訓も見える。掲出語は約 3,600，うち単字は約 950。熟語は，『玄応音義』，『法華経音義』，『大般若経音訓』等によるものが多い。出典は，吉田金彦（1980）によれば，仏典が 67，漢籍が 36，訓点本が 27 という。仏典音義を部首分類体に編纂し直した字書である。その価値は，(1)当時の日本語語彙（漢文訓読語）を多数記載し，それらに声点（アクセント）を極めて正確に注記すること，(2)中国・日本の逸書を多く含むこと，(3)内容も学問的にハイレベルであることとされる。

次に，改編本系『類聚名義抄』は，観智院本，高山寺本，蓮成院本，西念寺本が知られる。このうち観智院本（建長 3 年（1251）顕慶書写）が唯一の完本であり，主としてこれによる。改編本系『類聚名義抄』の成立は，12-13 世紀（院政後期か鎌倉初期）頃，真言宗の学僧による編纂とされる。改編本

系は広益本系とも呼ばれるが，原撰本の仏教事典的要素を削り，原撰本の漢文注を省略，万葉仮名を片仮名に改め，片仮名注を増補している。原撰本に比べ，見出しは 2.1 倍，和訓は 4.1 倍に増加し，120 の部首に掲出語（項目）は 32,000。34,710 の和訓，声点（アクセント）付きは 1 万。その日本語資料としての価値は，⑴収容語彙が極めて多いこと，⑵漢音・呉音の注記も多いこと，⑶異体字の注記が多いこととされる。

2　観智院本『類聚名義抄』のデータベース化

観智院本『類聚名義抄』の本文は，ある掲出字句に対して，字体注（「正」「通」「俗」等），音注（漢音は反切，類音注，呉音は類音注，片仮名注で注記），意義注（漢文による釈義），片仮名和訓が施される。最終的には，これらすべての情報をデータベース化することを目指しているが，現段階では，掲出字句の所在と切り出し画像とを照合させたデータベースについて一応の完成を見たところである。以下，その概要を報告する。

3　観智院本『類聚名義抄』の掲出項目数と掲出字数

観智院本『類聚名義抄』の掲出項目は，約 32,000 とされる。ひとつの項目は，多くの場合 1 字だけであるが，例えば，「人」（仏上 1）の項目の次に「一人」「二人」「五人」「人等」「湯人」「真人」「漁人」「海人」「盗人」「不良人」（以下略）とあるように，2 字以上の熟語が続くこともある。また，「倫侃」（仏上 1）のように異体字を併記した掲出項目とし，注文に「上俗下正」のような字体注を施すこともある。異体字併記は数文字に及ぶ場合もあり，掲出字数は，これらを勘案して算出する必要があるが，煩瑣である。

酒井憲二（1967）は次の方法で算出している。

> 観智院本は，一面八行四段に白界を施して三二格，一格に一字もしくは一語を例としているけれども，字により語により繁簡さまざまで数えかたによっては幾分差異が出るであろう。私は，一格内の一字（一語）

を一項目として計算の基礎としたが，注文のありかたによって次のような扱いをした。すなわち，一格に二，三字続く場合もまとめて注文ある場合は一項（多くの字が何格にもわたって連なり「(八字) 俗」「未詳」等の注文で一括されているものなども同じ)，逆に，一格内二，三字であっても一字ごとに「正・俗・同」などの注文あるものはそれぞれ別項と数える。

酒井（1967）は，この方法で，観智院本『類聚名義抄』全体で 32,613 項，その中に熟字 3,589 語を含むと算出している。

私は，「一格に二，三字続く場合もまとめて注文ある場合」を一項と数える点は同じだが，「一格内二，三字であっても一字ごとに「正・俗・同」などの注文あるもの」を別項とせず，同じ項として数えた。また，熟字なのか，異体字の併記なのかは無視して，一項に何文字あるか，その字数を算出した。この方法をとったのは，もっぱら画像切り出しの作業効率を優先したためである。表 1 は，この方法で観智院本『類聚名義抄』の冊毎に掲出項目数と掲出字数とを算出したものである。

例えば，観智院本『類聚名義抄』の第一冊目の仏上の掲出項目数を見ると，1 字は 1,580 項目， 2 字は 496 項目， 3 字は 57 項目， 4 字は 16 項目， 5 字

表 1　観智院本『類聚名義抄』冊毎の項目数及び字数

冊	1字	2字	3字	4字	5字	6字	7字	8字	9字	12字	項目数	字数
仏上	1,580	496	57	16	3	2	1				2,155	2,841
仏中	2,990	634	64	21	9		1	1	1	1	3,722	4,615
仏下本	2,889	715	113	18	7	1		1			3,744	4,779
仏下末	1,212	293	36	10	2				1		1,554	1,965
法上	2,833	517	79	12	8	3	1		1		3,454	4,226
法中	3,418	698	80	16	10	4	1				4,227	5,199
法下	2,525	810	165	14	6	2	2	2			3,526	4,768
僧上	2,163	1,117	198	22	7	3		1			3,511	5,140
僧中	1,952	945	142	23	2	3		1			3,068	4,396
僧下	1,953	837	176	36	7	4	2		3		3,018	4,399
合計	23,515	7,062	1,110	188	61	22	8	6	6	1	31,979	42,328

は 3 項目，6 字は 2 項目，7 字は 1 項目であり，合計 2,155 項目となる。仏上の掲出字数を合計すると，2,841 字となる。以下，仏中から僧下まで同様の方法で数値を算出している。

観智院本『類聚名義抄』全体の掲出項目数は，31,979 項目であり，従来算出された数値の約 32,000 に合致する。

次に観智院本『類聚名義抄』の掲出字数をみると，全体で 42,328 字であった。いうまでもなくこの数値は，延べの掲出字数である。異なりの掲出字数の算出には，文字同定の作業が不可欠であり，今後かなりの時間が必要である。

表 2 は，表 1 の元データであり，120 の部首毎に掲出項目数と掲出字数をまとめたものである。部首毎の掲出項目数はすでに酒井（1967）に一覧されている。その結果と照合してみると，算出方法が異なるため完全に一致しないものの，各部首ともに近似した数値であった。掲出字数(延べ)は酒井(1967)に示されておらず，私の算出が初めての数値であろう。

表 2 から，項目数（字数）の多い部首を上位 5 位まで順に挙げると，艸部 1,579 項目 (2,362 字)，雑部 1,487 項目 (2,061 字)，木部 1,300 項目 (1,675 字)，水部 1,241 項目 (1,564 字)，手部 1,111 項目 (1,463 字) となる。雑部の多さは目立っている。

項目数の少ない部首は，順に挙げると，臧部 23 項目(29 字)，彡部 26 項目 (32 字)，斗部 27 項目 (40 字)，色部 29 項目 (37 字)，乙部 32 項目 (42 字)，勹部 33 項目 (37 字)，舌部 34 項目 (51 字)，鼻部 36 項目 (45 字)，矢部 36 項目 (44 字)，寸部 39 項目 (59 字) であり，少なくても 20 数項目 30 字程度でひとつの部が構成される。このことは『類聚名義抄』と密接な関係にある『玉篇』(梁・顧野王撰) とは大きく異なる点である。『玉篇』の部首数は 542 であるが，所収文字が 20 字以下のものは 430 以上存している。『玉篇』の部首で所収文字 1 字のものは 22，所収文字 2 文字のものは 82 を数える。

表 3 は，観智院本『類聚名義抄』の仏・法・僧毎に掲出項目数と字数を整理し直したものである。仏と法とはほぼ同様の掲出項目数と掲出字数であり，僧は仏と法より若干少ない結果となった。

表 2　観智院本『類聚名義抄』部首毎の項目数及び字数

冊	No.	篇	1字	2字	3字	4字	5字	6字	7字	8字	9字	12字	項目数	字数
仏上	001	人	596	209	29	5	2	2	1				844	1,150
仏上	002	彳	136	42	3								181	229
仏上	003	辶	332	97	12	3							444	574
仏上	004	匚	48	5	2								55	64
仏上	005	走	157	17	2	1							177	201
仏上	006	麥	72	12	1	3	1						89	116
仏上	007	一	66	65	3	3							137	217
仏上	008	丨	46	20	2	1							69	96
仏上	009	十	56	22	2								80	106
仏上	010	身	71	7	1								79	88
仏中	011	耳	111	14	3		1						129	153
仏中	012	女	403	99	10	3	1						516	648
仏中	013	舌	24	6	2	1	1						34	51
仏中	014	口	816	164	20	10	4					1	1,015	1,276
仏中	015	目	383	63	6	2			1		1		456	551
仏中	016	鼻	28	7	1								36	45
仏中	017	見	113	12									125	137
仏中	018	日	431	106	8	1	1						547	676
仏中	019	田	127	30	2								159	193
仏中	020	肉	554	133	12	4	1			1			705	885
仏下本	021	舟	86	16	1	1							104	125
仏下本	022	骨	94	19	3								116	141
仏下本	023	角	104	20	2								126	150
仏下本	024	貝	186	22	4			1					213	248
仏下本	025	頁	227	52	5		1						285	351
仏下本	026	彡	22	2	2								26	32
仏下本	027	髟	116	31	4	4	3						158	221
仏下本	028	手	823	236	46	3	2			1			1,111	1,463
仏下本	029	木	984	266	42	7	1						1,300	1,675
仏下本	030	犬	247	51	4	3							305	373
仏下末	031	牛	146	25	2								173	202
仏下末	032	片	48	13									61	74
仏下末	033	豸	107	17	1								125	144
仏下末	034	乙	22	10									32	42

仏下末	035	儿	152	52	11	3							218	301
仏下末	036	攵	87	17	1								105	124
仏下末	037	八	73	26	2	5							106	151
仏下末	038	大	108	24	4								136	168
仏下末	039	火	381	101	15	1	2				1		501	651
仏下末	040	黒	88	8		1							97	108
法上	041	水	988	206	36	6	2	1	1		1		1,241	1,564
法上	042	氵	65	10	3								78	94
法上	043	言	587	83	13		1						684	797
法上	044	足	407	65	12	2	2						488	591
法上	045	立	78	15	1								94	111
法上	046	豆	58	20	4								82	110
法上	047	卜	97	27	1								125	154
法上	048	面	46	6	1								53	61
法上	049	齒	94	20	2	2	2						120	158
法上	050	山	413	65	6	2	1	2					489	586
法中	051	石	291	64	6	3	1	3					368	472
法中	052	玉	288	81	7	1	4						381	495
法中	053	色	22	6	1								29	37
法中	054	邑	294	18	5	3							320	357
法中	055	阜	220	46	3	1	1						271	330
法中	056	土	451	89	13	4	2		1				560	701
法中	057	心	693	173	19	1	2	1					889	1,116
法中	058	巾	209	44	7								260	318
法中	059	糸	592	108	12	3							715	856
法中	060	衣	358	69	7								434	517
法下	061	示	188	30	7		1						226	274
法下	062	禾	403	66	12	4		1					486	593
法下	063	米	182	45	11	1	1		1				241	321
法下	064	丶	75	41	4								120	169
法下	065	宀	197	83	13	1				1			295	414
法下	066	勹	29	4									33	37
法下	067	穴	145	31	5								181	222
法下	068	雨	161	45	10	1	1						218	290
法下	069	門	191	47	4	1	1						244	306
法下	070	口	59	16	5								80	106

法下	071	尸	130	39	10	4		1					184	260
法下	072	虍	63	16	7	1			1				88	127
法下	073	广	219	65	13		1						298	393
法下	074	鹿	34	18	7								59	91
法下	075	疒	236	139	25	1	1			1			403	606
法下	076	歹	117	58	11								186	266
法下	077	子	45	30	20								95	165
法下	078	斗	15	11	1								27	40
法下	079	臥	17	6									23	29
法下	080	寸	19	20									39	59
僧上	081	艸	935	526	103	10	4	1					1,579	2,362
僧上	082	竹	292	161	32	1	2						488	724
僧上	083	力	73	30	2								105	139
僧上	084	刀	151	79	9	1							240	340
僧上	085	羽	68	30	5	1							104	147
僧上	086	毛	58	29	10	2	1	1		1			102	173
僧上	087	食	120	74	17	2		1					214	333
僧上	088	金	466	188	20	5							679	922
僧中	089	亼	47	32		1							80	115
僧中	090	瓜	34	18	1		1						54	78
僧中	091	网	73	38	9	1				1			122	188
僧中	092	皿	66	39	5	1							111	163
僧中	093	瓦	73	39	7	1							120	176
僧中	094	缶	35	6									41	47
僧中	095	弓	62	32	8								102	150
僧中	096	方	52	19	1								72	93
僧中	097	矢	29	6	1								36	44
僧中	098	斤	47	11	1								59	72
僧中	099	矛	25	14									39	53
僧中	100	戈	89	33	2	2		1					127	175
僧中	101	欠	87	32	3	1							123	164
僧中	102	又	51	29	5								85	124
僧中	103	支	153	60	8	2							223	305
僧中	104	殳	62	15	4								81	104
僧中	105	皮	52	33	2			1					88	130
僧中	106	革	135	69	16	2							222	329

僧中	107	韋	34	19	1								54	75
僧中	108	車	147	74	8	4							233	335
僧中	109	羊	47	25	6	1							79	119
僧中	110	馬	186	87	15	2		1					291	419
僧中	111	鳥	307	183	37	5	1						533	809
僧中	112	隹	59	32	2								93	129
僧下	113	魚	228	104	41	3							376	571
僧下	114	虫	352	260	32	10	1	2	1		1		659	1,041
僧下	115	鼠	33	19	7	1							60	96
僧下	116	龜	23	13	4								40	61
僧下	117	鬼	52	18	2	2	2				1		77	121
僧下	118	風	71	32	7	1							111	160
僧下	119	酉	144	54	9						1		208	288
僧下	120	雜	1,050	337	74	19	4	2	1				1,487	2,061
合計			23,515	7,062	1,110	188	61	22	8	6	6	1	31,979	42,328

表 3　観智院本『類聚名義抄』仏法僧毎の項目数及び字数

冊	1字	2字	3字	4字	5字	6字	7字	8字	9字	12字	項目数計	字数計
仏	8,671	2,138	270	65	21	3	2	2	2	1	11,175	14,200
法	8,776	2,025	324	42	24	9	4	2	1		11,207	14,193
僧	6,068	2,899	516	81	16	10	2	2	3		9,597	13,935
合計	23,515	7,062	1,110	188	61	22	8	6	6	1	31,979	42,328

表 4 は，観智院本『類聚名義抄』の各冊毎に，1ページ当たりの掲出項目数と掲出字数とを算出したものである。

全体でみると，1ページ当たりの項目数は 25.686 項目，1ページ当たりの字数は 33.998 字である。冊によって若干の違いはあるが，際だった差は認めにくい。1ページ当たりの項目数でみると，一番多いのは法上の 28.311 項目，一番少ないのは僧中の 22.394 項目である。1ページ当たりの字数でみると，一番多いのは僧上の 36.714 字，一番少ないのは僧中の 32.088 字である。

表 4　観智院本『類聚名義抄』1 ページ当たりの項目数及び字数

冊	ページ数	1 ページ当たり項目数	1 ページ当たり字数
仏上	88	24.489	32.284
仏中	139	26.777	33.201
仏下本	137	27.328	34.883
仏下末	57	27.263	34.474
法上	122	28.311	34.639
法中	152	27.809	34.204
法下	144	24.486	33.111
僧上	140	25.079	36.714
僧中	137	22.394	32.088
僧下	129	23.395	34.101
合計	1,245	25.686	33.998

4　『篆隷万象名義』(『玉篇』)から見た観智院本『類聚名義抄』の掲出字

『篆隷万象名義』6 帖は，真言宗の開祖，弘法大師空海（774-835）の撰述である。本文冒頭に「東大寺沙門大僧都空海撰」と見える。空海は延暦 23 年(804）入唐，大同元年（806）帰朝。天長 4 年（827）5 月 27 日任大僧都（一説天長 7 年)，承和 2 年（835）年に没した。帰朝後から没年までの間の撰述であり，東大寺の学問環境の中で成立を見たものである。伝本は，永久 2 年(1114)写の高山寺本が唯一である。ただし，後半 2 帖は後人続撰である。顧野王『玉篇』本文の節略に加え，掲出字を篆書でも示す。

『篆隷万象名義』の価値は，原本系『玉篇』（梁・顧野王撰，30 巻，543 年成立）の節略に徹する点にある。原本系『玉篇』は，敦煌本残巻の報告もあるとはいえ，日本に巻 8，9，18，22，24，27 が残存するのが主要なものである。

『類聚名義抄』と『篆隷万象名義』とが密接な関係にあることは，例えば，原撰本系の図書寮本『類聚名義抄』に『篆隷万象名義』を「弘」の略称で約

520 箇所引くことから明かである。この引用度数は，『玄応音義』の約 1,300，真興の約 670，『玉篇』の約 600 についで第 4 位である。『類聚名義抄』の書名の「名義」も『篆隷万象名義』に関係あるものと考えられている。

一方，改編本系の観智院本『類聚名義抄』では，その凡例に相当する部分の中に「立篇者源依玉篇。於次第取相似者置隣也」の記事が見える。どのような部首（篇）を立てるかについては，『玉篇』によったこと，それらの部首（篇）を次第（配列）するについては，類似したものを隣に置く」としている。『類聚名義抄』の部首と『篆隷万象名義』（『玉篇』）部首とがどのような関係にあるか，特に『類聚名義抄』はどのように 120 の部首を立てたのかに関しては，近年，山田健三(1997)が詳細に検討している。山田は，『類聚名義抄』の部首立ては『玉篇』部首をソースとしていること，凡例の「於次第取相似者置隣也」は，部首立てに関する記述であって，従来説かれていたような部首配列に関する記述ではないことを指摘する。『類聚名義抄』の部首は，「人」「彳」「辶」で始まるが，こうした字形の類似ではなく，「彳」に「行」を，「辶」に「辶」を下位部首として連接させることを意味するとする。さらに部首立てには「広益玉篇」の目録的利用を推測している。

ところで，私は，『篆隷万象名義』について，その掲出字データベースを構築・公開している。『篆隷万象名義』の所在情報に，掲出字の諸橋『大漢和辞典』番号，JIS コード，UCS コードなどを加えたものである。池田（1994）と池田（2003）はその報告である。この『篆隷万象名義』データベースを土台として，『篆隷万象名義』の掲出字が観智院本『類聚名義抄』にどれだけ採録されているのかを照合してみた。この照合作業は難渋しており，重複や誤認も含まれるので，概算の数値を示すにとどめざるを得ないが，現在のところ，『篆隷万象名義』の掲出字総数約 16,000 字のうち，観智院本『類聚名義抄』に採録されるのを確認できた掲出字は，約 13,000 字であり，採録率は約 80 パーセントとなった。前述したように，観智院本『類聚名義抄』の掲出項目数は約 32,000，掲出字数は約 42,300 である。観智院本『類聚名義抄』が『篆隷万象名義』（『玉篇』）の掲出字の約 80 パーセントしか採録していないという事実は今回の調査で初めて判明したものである。今後，『篆隷万象名義』と

観智院本『類聚名義抄』との照合をより正確に点検することで，80 パーセントという数値は若干上がると見込まれるので，精査の上，具体的な数値を出すことを目指したい。

最後に，観智院本『類聚名義抄』各部首内の掲出字の配列と『篆隷万象名義』(『玉篇』) との関係をみておきたい。観智院本『類聚名義抄』の各部首内の，特に前半の部分に掲出字配列に，類似字形配列が認められるとしたのは，酒井 (1967) であった。これを受けて，貞苅伊徳 (1983) は，各部首の，特に後半の部分に，『篆隷万象名義』(『玉篇』) と字順の一致する「玉篇字順群」の存在を明らかにした。

この状況を，走部を例に示してみよう。次ページ以下の表 5 を参照されたい。この表は，観智院本『類聚名義抄』と『篆隷万象名義』とを対照して，『篆隷万象名義』に掲出字が対応するものだけを抜き出して走部冒頭から末尾まで順に配列したものである。

所在は，最初の 3 桁がページ数，次の 1 桁が行数，次の 1 桁が段数で，最後の 1 桁は 2 字以上の項目に序数を付した。漢字は JIS にないものは，「今昔文字鏡」を使用した。万象名義の所在は，三帖 52 丁裏 1 行を，3/52-31 のように示した。帖と丁の区切りを，＃にしたものは，『篆隷万象名義』にないが『宋本玉篇』にあるものとして，宮澤俊雅 (1977) に掲載されるものである。次の『日本書紀』『続日本記』『史記』『文選』『法華経』『大般若経』の欄は，これらの文献における漢字の使用度数である。備考には，「玉篇字順群」であることを注記した。

表 5 によって，前半部分に類似字形の連係を意図した箇所(「類似字形群」) が認められること，後半部分に「玉篇字順群」が存在することが分かり，酒井 (1967) と貞苅 (1983) の指摘が確認できる。さらに『日本書紀』『続日本記』『史記』『文選』『法華経』『大般若経』の欄を見ると，前半の「類似字形群」には，『日本書紀』等の典籍に出現する漢字が比較的多いのに対して，後半の「玉篇字順群」には，それが少ないことに気づく。「玉篇字順群」に見える「趣」(069810) は，『篆隷万象名義』(『玉篇』) の字順が崩れているが，「趣」は使用度数の高い漢字であり，字順の崩れに関係があるものであろう。「玉篇

字順群」に僻字・難字が多いことは一見して明らかだが，各種文献の使用度数と照合することで，字順と漢字の使用度数との関係をより明確にすることは示せたであろう。

表 5　観智院本『類聚名義抄』走部と『篆隷万象名義』との対照

所在	漢字	万象名義	日本書紀	続日本記	史　記	文　選	法華経	大般若経	備　考
064621	走	3/52－31	37	19	328	45	15	8	
064720	趍	3/55－42							
064741	趕	3/56－31							
064742	趂	3/56－32							
064810	趁	3/57＋22				1			
064840	起	3/56＋11							
065110	趒	3/53＋51							
065140	趠	3/55＋11				1			
065310	趙	3/56＋51							
065320	趁	3/56＋42							
065340	赽	3@55－11							
065430	赽	3@55－11							
065440	趫	3@53－51							
065610	趙	3/56－11							
065620	趙	3/56＋62							
065640	赴	3/52－51	50	33	34	70		7	
065730	趍	3/55－61			1				
065740	趭	3/56－41				1			
065810	趂	3/52－61							
065820	趮	3/53＋12			1				
066210	起	3/54＋52	148	54	666	316	83	5,160	
066240	超	3/52－62	6	8	9	85	1	1,039	
066320	越	3/53＋22	68	240	639	183	3	351	
066510	趙	3/54－61	1	6	1,933	88			
066640	趧	3/53＋41							
066820	趐	3/54－41							
066830	趕	3/55－62			1				
067120	趫	3/55＋51							
067140	赻	3#53＋321							
067220	趁	3/53＋32							
067230	趭	3/55－51							
067341	趥	3/57＋51							
067342	趨	3#57＋601							
067430	趍	3/56＋52							
067440	趜	3/56＋61							
067520	趧	3/53＋42							
067540	趁	3/54－51						1	
067640	趨	3/52－41	2	3	54	41			
067740	趮	3/53＋62							玉篇字順群
067810	趨	3/53－11							玉篇字順群
067830	趨	3/53－21							玉篇字順群
067840	趄	3/53－22							玉篇字順群

068130	趨	3/53－41							玉篇字順群
068140	趖	3/53－42							玉篇字順群
068210	趫	3/53－51							玉篇字順群
068220	趬	3/53－52							玉篇字順群
068230	趯	3/53－61							玉篇字順群
068240	趙	3/53－62							玉篇字順群
068312	趫	3/54＋11							玉篇字順群
068321	趭	3/54＋12							玉篇字順群
068322	趑	3/54＋21							玉篇字順群
068330	趯	3/47＋61			2				玉篇字順群
068420	塞	3/54＋22							玉篇字順群
068430	赶	3/54＋31							玉篇字順群
068440	趒	3/54＋32							玉篇字順群
068510	趨	3/54＋42							玉篇字順群
068520	趕	3/54＋51							玉篇字順群
068530	趧	3/54＋61							玉篇字順群
068540	趁	3/54＋61							玉篇字順群
068610	趄	3/54－11							玉篇字順群
068630	趨	3/53＋31							玉篇字順群
068640	赸	3/54－52							玉篇字順群
068710	趙	3/54－12							玉篇字順群
068730	趨	3/54－21							玉篇字順群
068810	赹	3/54－22							玉篇字順群
068820	趯	3/54－31							玉篇字順群
068830	赻	3/54－32							玉篇字順群
069110	趾	3/54－42							玉篇字順群
069140	趨	3/54－62							玉篇字順群
069220	趾	3/55＋31							玉篇字順群
069230	趮	3/55＋32							玉篇字順群
069241	趙	3/55＋41							玉篇字順群
069320	趨	3/55＋42							玉篇字順群
069330	趙	3/55＋62							玉篇字順群
069340	趾	3/55＋52							玉篇字順群
069410	趙	3/56＋21							玉篇字順群
069510	趨	3/55－12							玉篇字順群
069520	趯	3/55－21							玉篇字順群
069620	趧	3/56＋31							玉篇字順群
069630	趒	3/56＋32							玉篇字順群
069720	趲	3/56－12							玉篇字順群
069740	趁	3/56－21				1			玉篇字順群
069810	趣	3/52－52	5	11	50	37	30	4,711	玉篇字順群
069844	趾	3/55＋52							玉篇字順群
070110	趭	3/56－22				1			玉篇字順群
070130	趭	3/56－42							玉篇字順群
070140	趭	3/56－51							玉篇字順群
070210	趐	3/57＋12							玉篇字順群
070220	趁	3/57＋21							玉篇字順群
070230	趁	3/55－22				1			玉篇字順群
070240	趪	3/57＋31				2			玉篇字順群
070310	趨	3/56－52							玉篇字順群
070320	起	3/56－61							玉篇字順群
070330	赳	3/57＋11							玉篇字順群
070420	趕	3/57＋42							玉篇字順群

参考文献

池田証寿（1994）「篆隷万象名義データベースについて」，『国語学』第 178 集，東京：武蔵野書院
池田証寿（1993）「図書寮本類聚名義抄の単字書的性格」，『国語国文研究』94 号，札幌：北海道大学国語国文学会
池田証寿（2003）「篆隷万象名義データベースの改訂」，『漢字文献情報処理研究』4 号，東京：好文出版
池田証寿（2005）「《玉篇》和日本的古字書」，張寶三・楊儒賓編『日本漢學研究續探　思想文化篇（東亞文明研究叢書 39）』，台北：臺灣大學出版中心
池田証寿（2006）「依據日本的古字書來從事漢語史資料研究」，浙江大學漢語史研究中心編『漢語史學報』第 6 輯，上海：上海教育出版社
酒井憲二（1967）「類聚名義抄の字順と部首排列」，『本邦辞書史論叢』，東京：三省堂
貞苅伊徳（1983）「観智院本類聚名義抄の形成に関する考察　その 1　字順をめぐる問題」，第 48 回訓点語学会研究発表会，（貞苅（1998）に所収）
貞苅伊徳（1998）『新撰字鏡の研究』，東京：汲古書院
白藤礼幸（1977）「解説」『高山寺古辞書資料第一』，東京：東京大学出版会
築島裕（1976）「国語史料としての図書寮本類聚名義抄」，『図書寮本類聚名義抄』，東京：勉誠社
宮澤俊雅（1977）「掲出字一覧表」『高山寺古辞書資料第一』，東京：東京大学出版会
山田健三（1995）「奈良・平安時代の辞書」，『日本古辞書を学ぶ人のために』，東京：世界思想社
山田健三（1997）「名義抄における部首検索システムの構築」，『愛知学院大学教養部紀要』44-4，日進：愛知学院大学
吉田金彦（1980）「類聚名義抄」，『国語学大辞典』，東京：東京堂出版

覆製本

『篆隷万象名義』—『高山寺資料叢書第六冊　高山寺古辞書資料第一』，東京：東京大学出版会，1977 年
『類聚名義抄』—『図書寮本類聚名義抄』，東京：勉誠社，1976 年
『類聚名義抄』，東京：風間書房，1954 年
『類聚名義抄（天理図書館善本叢書 32-34）』，東京：八木書店，1976 年

〔附記〕　本稿は，平成 17 年度～平成 19 年度日本学術振興会科学研究費補助金基盤研究（C）「掲出字画像データベースの構築による『類聚名義抄』の漢字字体規範の研究」（研究代表者：池田証寿，課題番号 17520290）による成果の一部である。